



木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

テーマ 「木や草の実を見よう」

朝方の雨で参加者は少なめでしたが、天気は開始少し前から曇り空に変わりました。

花の季節はほぼ終わったので、今回は「実」がテーマです。自分で動けない植物は種を散布するため①動物に食べて運ばせる（目立つ色やおいしい味）、②動物に付着する（トゲ、粘着性）、③風で飛ばす（綿毛、翼）、④その他、水で流す、斜面を転がすなど、その目的に応じて種子を包む実さまざまな工夫をこらしています。そうした木の実・草の実を見て回りました。

まずは、芝生に落ちていたコブシの実です。拳の形をした外被が割れ、赤い実（袋果）が見えています、これを引っ張ってみるとよく伸びる糸で外被にくっついていて、赤い実の中に黒色の堅い種子があります。鳥が食べますが、種子の外側の部分を齧ってみても、人にとってはおいしくありませんでした。

河川敷にあるエノキなどの林ではアケビの実が食べごろになっていました。メジロなどの小鳥が食べますが、これは人にとっても美味です。

大野極楽寺公園の北側の散策路にオオバコが実をつけていました。種子を取り出して出して水につけると、周りに粘着性のあるゼラチン状の物質が出てくるのが分かります。オオバコはこれで種子が靴底やタイヤについて分布を広げています。

大野極楽寺公園ではサンシュユの実が赤く色づいていました。齧ってみると酸味と渋味が残りました。口直しに138タワーパークでガマズミとムクノキの実を少しばかり賞味して楽しみました。

五感を使って観察と言われますが、今回は味覚を中心に木や草の実を観察しました。

<その他観察できたもの>

実：ノブドウ、シンジュ、ヌルデ、オニグルミ、イヌホオズキ、センダン、クズ、オオブタクサ、オギ、アレンチヌスビトハギ、マテバシイ、カラスウリ、スズメウリ、アメリカセンダングサ、アキニシ、ツルマメ、ヤブマメ、コムラサキシキブ、シロダモ

花：クワイモ、ツユクサ、ノコンギク、ヒメジョオン、メリケンムグラ 蕾：キダチコンギク

鳥：ハクセキレイ、ムクドリ、アオサギ、キジバト、カワウ、ツバメ、モズ、ホオジロ、ハシボソガラス
虫：キタキチョウ、ヤマトシジミ、ウラナミシジミ、ウラギンシジミ、コノシメトンボ、マユタテアカネ、ウスバキトンボ

日時 2016年10月9日) 9:30~12:00 (曇り)

参加者 一般：2名 (うち子ども0名)

指導員：3名



(観察会のようす)



(食べごろのアケビの実)



(酸味と渋みが強いサンシュユの実)